

部会等運営委員会報告

木村 敦 (JAEA)

2026/9/9

1. 今年度の主な活動（運営委員 16 名）

- 秋の大会における企画セッション
核データ部会[「シグマ」調査専門委員会共催]
「TRIP 事業 (UC 元素変換)の進捗と核データへの展開」
2026 年 9 月 9 日 (水) N 会場
- 2026 年度核データ研究会
日程： 2026 年 12 月 10 日 (木)～12 月 11 日 (金)
開催場所：北海道大学 学術交流会館 (札幌市)
- 年会・大会[予定]
2027 年春の年会 2027 年 3 月 17 日 (水) -19 日 (金)
東京科学大学大岡山キャンパス
2027 年秋の大会 2027 年 9 月 8 日 (水) -10 日 (金)
北海道大学
2028 年春の年会 2028 年 3 月 15 日 (水) -17 日 (金)
京都大学吉田キャンパス
2028 年秋の大会 2028 年 9 月 13 日 (水) -15 日 (金)
朱鷺メッセ (新潟市)
- 核データニュース発行 (No144 1 件) 6/11
- NDD ニュースレター (No.194-195 2 件)
- 部会賞 学術賞 1 件、奨励賞 1 件

2. 部会会員数

220 名 (2026/5/28) +12 名

参考：

前回集計： 208 名 (2025/5/25)

前々回集計： 216 名 (2024/5/30)

3. 部会等運営委員会での関連する主な議事内容

(第1回部会等運営委員会 2026/7/22)

(3) 今後の年会・大会その他

・年会大会実行WG設置基準および「2027年春の年会」「2027年秋の大会」の進め方について

事務局より、春の年会・秋の大会の実行WG設置基準および今後の進め方についてまとめた結果の説明があった。WGのメンバー選出は企画セッション提案依頼の約2か月前までに設置することとし、春の年会のWGメンバー選出は前年8月初旬まで、秋の大会のWGメンバー選出は当該年2月初旬までとする。

今後の部会・連絡会からのWGメンバー選出方法について議論した。**部会等運営委員会の名簿順で進め、三つの部会・連絡会から一名ずつ選出いただくこととなった。**また、WGのメンバーについて、秋の大会の場合、翌年度の開催となるため、年度区切りで委員が交代となり、秋の大会時点では選出されたWGメンバーが部会・連絡会運営委員ではなくなる可能性があるとの指摘があった。こちらについても、基本的には当該大会終了まで部会・連絡会運営委員であることを条件とすることとして、選出方法の文書に追記することとなった。

2027年の秋の大会については、核融合工学部会とバックエンド部会、熱流動部会から一名ずつ選出することとなった。

(核データ部会は**2029年秋の大会**に順番が回ってきます。

⇒2027年3月、2029年3月が改選期ですので、

2期連続で運営小委員会の企画担当をお願いすることになります。)

・「2029年秋の大会」開催候補地視察報

事務局より、2029年秋の大会の候補地である広島国際会議場及び広島市文化交流会館の視察結果について説明があった。全体的には学会会場として適している。広島国際会議場は発表会場で8会場が、広島市文化交流会館は7会場が確保可能である。受付・展示会は広島国際会議場で、ポスターセッションは広島市文化交流会館で開催予定である。なお、両会場の移動は徒歩で10分程度かかる。

2029年秋の大会は広島国際会議場及び広島市文化交流会館での開催として承認、会期については、2029/9/12-14で実施することが承認された。

・2029年以降の開催計画進捗確認および開催候補地検討

事務局より、2029年以降の開催候補地の検討状況について説明があった。2029年春は阪大での実施を検討している。2030年春は東大駒場キャンパス、秋は九大伊都キャンパスを考えている。ただし、このままでは2028年春の京大と2029年春の阪大で関西が連続となるため、2029年春を東大の駒場キャンパス、2030年春が阪大となる可能性がある。また、九州大学については2028年に打診する予定である。2029年春については、東大が開催可能であれば東大で、東大が難しいようであれば阪大で開催することとなった。

詳細が知りたい方は木村までご連絡ください。